

千葉県循環器病センターにて心不全への入院治療を受けられた方へ

現在、当院循環器科において「高齢心不全入院患者の自宅退院可否に関わる因子の検討」（単施設 後ろ向き研究）を行っています。今後の診療に役立てるため、皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【研究課題】 「高齢心不全入院患者の自宅退院可否に関わる因子の検討」

【研究機関名および研究責任者名】

研究機関 千葉県循環器病センター

研究責任者 中山 崇

【研究期間】

2026 年 9 月 9 日から 2027 年 12 月 31 日まで

【対象となる方】

当院に心不全で入院し治療を受け、2024 年 7 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日の間に退院された、退院当時 75 歳以上の方。

【研究の意義・目的】

高齢化が進む我が国では心不全で入院される患者さんが今後さらに増加すると予想されています。心不全で入院された高齢の患者さんの中には、さまざまな持病があったり体力が低下したり介助を要したりする方も多く、心不全が軽快しても自宅への退院が難しかったり、退院に向けて支援が必要となったりするなどさまざまな課題が存在します。なかには自宅から入院されたもののさまざまな理由で自宅退院が困難となる方もいらっしゃいます。心不全で入院された高齢の患者さんの中で自宅退院ができた方、できなかった方の違いについて研究した報告は少なく、未解明なことも多いです。

そこで、心不全で入院された高齢の患者さんの自宅退院を阻害する因子について研究を行い、得られた知見を今後の心不全患者さんの診療や退院支援のために役立てたいと考えています。

【研究の方法】

この研究は千葉県循環器病センターの倫理審査委員会の承認を受けて実施します。これまでの診療でカルテに記録されている臨床情報、検査結果などのデータを収集して行います、対象となった患者さんに新たにご負担いただくことはありません。この研究のために

使われるデータは当施設の電子カルテと同様施設内で保護されたシステムの中に保管されます。氏名、患者番号などの個人情報を削除した上で解析します。この研究で収集したデータは研究終了から5年間適切に管理・保管します。

【個人情報の保護】

この研究で収集される情報・データ等は外部に漏れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表に当たっては、氏名や住所・生年月日など患者さん個人を特定できる情報は公表しません。

【研究成果の発表】

この研究で得られた知見は、患者さん個人が特定できない形で学会や学術誌等で発表されます。

この研究のためにご自身（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務所へ 2026年11月30日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合はご了承いただいたものとさせていただきます。ご不明な点がございましたら研究事務所へおたずねください。

2026年9月

【問い合わせ先】

千葉県循環器病センター 循環器科 中山 崇
〒290-0512 千葉県市原市鶴舞 575
電話 0436-88-3111